



## 2023年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年3月15日

上場会社名 ANYCOLOR株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5032 URL http://anycolor.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田角 陸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 兼 経営管理部長 (氏名) 釣井 慎也 TEL 03 (4335) 4850  
 四半期報告書提出予定日 2023年3月15日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年4月期第3四半期の業績 (2022年5月1日～2023年1月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第3四半期	19,407	91.0	7,509	139.5	7,550	141.1	5,234	154.2
2022年4月期第3四半期	10,159	-	3,135	-	3,131	-	2,059	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第3四半期	174.18	163.05
2022年4月期第3四半期	68.79	-

- (注) 1. 当社は、2021年4月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年4月期第3四半期の対前年同四半期の増減率については記載しておりません。  
 2. 2022年4月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり期中平均株価が把握できないため記載しておりません。  
 3. 当社は、2022年1月5日付で普通株式1株につき15株の割合で株式分割を行っております。そのため2022年4月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。  
 4. 2023年4月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が2022年6月8日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から当第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第3四半期	16,805	11,741	69.9
2022年4月期	9,353	6,318	67.5

(参考) 自己資本 2023年4月期第3四半期 11,739百万円 2022年4月期 6,315百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年4月期	-	0.00	-	-	-
2023年4月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年4月期の業績予想（2022年5月1日～2023年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	76.5	9,200	119.5	9,200	121.7	6,380	128.4	208.52

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 2. 通期業績予想の修正につきましては、本日（2023年3月15日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。  
 3. 1株当たり当期純利益は、2023年4月期第3四半期末の発行済株式数（除く自己株式）で除して算出しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年4月期3Q	30,596,735株	2022年4月期	29,943,435株
② 期末自己株式数	2023年4月期3Q	－株	2022年4月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年4月期3Q	30,055,827株	2022年4月期3Q	29,943,435株

（注）2021年12月1日開催の取締役会決議により、2022年1月5日付で株式1株につき15株の割合で株式分割を行っております。2022年4月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(会計方針の変更) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は「魔法のような、新体験を。」というコーポレート・ミッションのもと、新しいエンターテインメントを提供する会社として、VTuberグループ「にじさんじ」の運営を主軸としたエンターテインメント領域での事業展開を行っております。当社のVTuberビジネスは、主にYouTubeにおけるライブ配信動画を中心とした動画配信活動によるライブストリーミング領域、当社がIPを有するVTuberのオリジナルグッズや音声を録音したデジタル商品の販売を行うコマース領域、当社所属のVTuberが出演する、音楽をはじめとしたイベントを主催するイベント領域、企業からのタイアップ広告、IPライセンス、メディア出演等の案件であるプロモーション領域の4領域で構成されています。VTuberグループ「にじさんじ」は日本国内を中心に、「NIJISANJI EN」は英語圏を中心にそれぞれ上記4領域での活動に従事しております。

国内VTuberビジネスでは、VTuberグループ「にじさんじ」に所属する日本国内で活動するVTuber数は118名（前年同四半期比11名増加）、YouTube再生時間は463百万時間（前年同四半期比7%増）となりました。また、「にじさんじオフィシャルストア」や「にじさんじFAN CLUB」等の利用の際に必要なIDであるANYCOLOR IDは829千ID（前年同四半期比94%増）となりました。海外VTuberビジネスについても、英語圏におけるVTuberビジネス「NIJISANJI EN」の拡大をはじめとして注力しており、VTuber数は31名（前年同四半期比16名増加）、YouTube再生時間は105百万時間（前年同四半期比370%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高19,407,432千円（前年同四半期比91.0%増）、営業利益7,509,385千円（前年同四半期比139.5%増）、経常利益7,550,675千円（前年同四半期比141.1%増）、四半期純利益5,234,981千円（前年同四半期比154.2%増）となりました。

なお、当社は動画コンテンツ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は15,920,370千円となり、前事業年度末に比べ7,422,590千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4,294,491千円、売掛金が2,487,704千円増加したこと等によるものであります。固定資産は884,684千円となり、前事業年度末に比べ29,137千円増加いたしました。これは主に無形固定資産の増加が26,098千円、投資その他の資産その他の増加が42,937千円あった一方で、敷金が37,672千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、16,805,054千円となり、前事業年度末に比べ7,451,728千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は4,877,724千円となり、前事業年度末に比べ2,153,230千円増加いたしました。これは主に買掛金が1,292,127千円、未払法人税等が781,600千円増加したこと等によるものであります。固定負債は186,140千円となり、前事業年度末に比べ123,949千円減少いたしました。これは長期借入金の返済によるものであります。

この結果、負債合計は、5,063,864千円となり、前事業年度末に比べ2,029,281千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は11,741,190千円となり、前事業年度末に比べ5,422,447千円増加いたしました。これは公募増資及び新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ94,557千円増加したことに加えて、四半期純利益5,234,981千円の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月期の業績予想につきましては、本日（2023年3月15日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,860,698	10,155,190
売掛金	2,069,605	4,557,309
商品	488,875	1,019,206
その他	78,600	188,663
流動資産合計	8,497,779	15,920,370
固定資産		
有形固定資産	227,510	225,284
無形固定資産	8,410	34,509
投資その他の資産		
敷金	458,481	420,809
その他	161,143	204,081
投資その他の資産合計	619,625	624,890
固定資産合計	855,546	884,684
資産合計	9,353,326	16,805,054
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	739,647	2,031,774
1年内返済予定の長期借入金	246,742	174,988
未払法人税等	1,054,313	1,835,914
その他	683,791	835,047
流動負債合計	2,724,494	4,877,724
固定負債		
長期借入金	310,089	186,140
固定負債合計	310,089	186,140
負債合計	3,034,583	5,063,864
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	104,120	198,677
資本剰余金	2,476,034	2,570,592
利益剰余金	3,734,957	8,969,939
株主資本合計	6,315,112	11,739,210
新株予約権	3,630	1,980
純資産合計	6,318,742	11,741,190
負債純資産合計	9,353,326	16,805,054

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年5月1日 至2022年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年5月1日 至2023年1月31日)
売上高	10,159,499	19,407,432
売上原価	5,794,644	10,418,912
売上総利益	4,364,855	8,988,519
販売費及び一般管理費	1,228,908	1,479,134
営業利益	3,135,946	7,509,385
営業外収益		
受取利息	17	29
為替差益	1,443	838
補助金収入	1,140	59,316
その他	265	584
営業外収益合計	2,866	60,768
営業外費用		
支払利息	4,271	2,943
株式公開費用	2,790	16,534
営業外費用合計	7,062	19,477
経常利益	3,131,750	7,550,675
特別損失		
イベント中止損失	161,205	—
特別損失合計	161,205	—
税引前四半期純利益	2,970,545	7,550,675
法人税、住民税及び事業税	873,199	2,359,747
法人税等調整額	37,585	△44,053
法人税等合計	910,784	2,315,693
四半期純利益	2,059,760	5,234,981

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)

当社は、2021年5月20日開催の取締役会決議に基づき、2021年5月20日付で、自己株式40,000株の消却を実施しております。その結果、負の値となるその他資本剰余金をその他利益剰余金から減額しています。

これらの結果、当第3四半期累計期間において資本剰余金が70,000千円、利益剰余金が55,640千円、自己株式が125,640千円減少し、当第3四半期会計期間末において、資本剰余金が2,476,034千円、利益剰余金が3,001,654千円となっております。なお、保有していた自己株式を全て消却したこととなります。

当第3四半期累計期間(自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)

当社は、2022年6月8日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年6月7日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行50,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ35,190千円増加しております。

また、新株予約権の行使に伴う新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ59,367千円増加しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期累計期間(自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)

当社は、動画コンテンツ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期累計期間(自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)

当社は、動画コンテンツ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。